

はじめての

せかいじめ
3



成人指定
REBUY.COM



もっと腰振れ

いいぞ

あーっ

はっ

あーっ

あーっ

あーっ



も...お...

許して...

はあ？
何言ってるんだ

ギョッ



俺が
イけねーだろ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



あぁ……！
イッく……

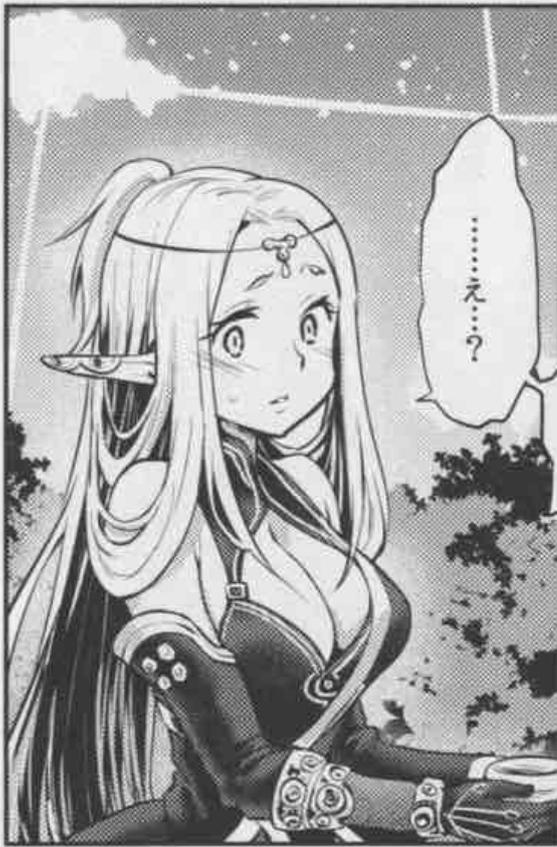
お姉ちゃん
しやぶって……



……今度は胸も
使って下さい……

クッ……
ズン……

唇震えて
イッてるの
伝わってくる……



……え…?



埋めるか

あ…

?!



お役に立てるよう
頑張りますし…

おつ…お願いです
ここに居させて
下さい…!

探索も
戦闘も



仕事だって
私は…

ふうん…

…しっ…



俺等もうお前に
飽きちまつたんだよなア

そんな…



まあ…そこまで言うなら
考えてやらなくもねえな

俺も鬼じゃねえ

ちゃんと評価は
してるんだ

下…

特に……
導師としての
技術と

フエラの上手さは
高く買ってる

てしたら……

よし
こうするか

お前の
しやぶるの仕事は
だけだ

迷宮探索も
佳境だからお互い
余計な体力を
使わねえ
ようにする

だが男つつうもんは
出さねえと
精彩を欠くからな

抜くだけは
やってもらうぜ

……
それじゃあ

最後まで
しねえって事だ

楽でいいだろ？

……
わかりました……





ちやんと丁寧にしゃぶれよ?

ちゅぽ



裏筋までバンバンなのが伝わって...

唇にカリがひっかかる...

ん

ん

ん

ん

ん

ん



これをナカに挿れられていたら今頃...

よしよし 喉まで 啜え込め

ピツタリ舌 這わせろよ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



飲み込め

いくぞ...



飲み込んだら...

まだ量の奥に
匂いが残ってる...



次は俺だ
早くしろ

は...

こうして口だけで
仕事をするようになって

以前より身体の
負担は減って
いるけれど…

あ
ん
ん
ん
ん
ん

疼きが
治まらない…

あんなに嫌
だつたのに…

唇に残っている
あの感触が
忘れられない

イク…

あ
ん
ん
ん
ん
ん

……だめ……
足りない……

あの人たちに
抱かれているときは
もっと……





んっ...

これはただの
生理現象のはず...



大きくなってる...
もしかして
溜まって...?



だけでもっ
欲しくて...

耐えられ...



ため...

べしちゃう...



起きたら
言われるか...

っんう...



オイ
何してんだよ

!!



ん

…まあ
オナってる
時から
起きてた
けどな



意外と
耐えたじゃ
ねえか

もつと早く
ねだりにくると
思ってたぜ

やっ……!

!…それじゃあ
はじめから…?



お前声
デカイからよ

ニヤッ

あっ…



ハハッ
素直になれば
また腰が溶けるほど
可愛がつてやるが

そんな顔じゃ
やれねえ





あ……

なんだよ
そのツラは？

私……は……

言えよ
正直に

お前の事を
誰よりも理解して

言っちゃえば
後戻りは……

可愛がってやれるのは
俺等以外居ねえんだ



おちんちんで……

触られたら
股濡らしてら
だる？

お前が悦ぶ場所
全部把握してらんだ

開発したのは
俺等だからな
他でもない

私……は……
だけど

子宮突きあげて
下さい……！

ハッキリ
言え



私…今まで以上に
皆さんにご奉仕します…

言っちゃったあ…



なんだか
いいのだけ
か？

恥ずかしくて
汗が噴き出す…

唇も胸も…全身
可愛がって下さい…

全身が
熱い…



わかりました…



いい心掛けだ
それじゃ服従の
証として脱げ

全部だ

肉便器に
服なんて
上等なモンは
必要ねえ

……



する…



トクン

トクン

トクン

今から俺等が
満足するまで
お前を犯してやる

泣き叫んで
許しを請うても
止めねえぞ

はい...

ん...

キスして...

目を触られてる
だけなのに...

ああ...

そうだ

イけ





きもちいい...♡

は...は

は...



ふは

は

は

は

：暫くフェラだけ
させてたせいかな

唇の感度が
上がつちまった
みてえだな



いいの?!

先に
可愛がって
やれ



んじや
お前ら

うん...



お姉ちゃんの
顔エロすぎ...



お姉さん...

こんな姿
見てたら我慢
できないよ...

あ...



お姉ちゃん
オナニーの時に
乳首弄ってる？

は…い…皆さんに
吸われているのを
思い出しながら…

こんな風に？

身体…
真つ白で
凄く綺麗…



二人…
同時に…

急に…
強すぎ…

赤ちゃん
みたい…

また
きちやう…





らららららら

…挿れて
下さい…

オ…

お…

おまんこに
指…



お尻は
いいの？

…っ
欲しいです
お願いします…

はしたない…
子供達相手に…
なんてお願いを…

久しぶりだから
じっくり慣らして
あげるね





あ…口の
中…



すこい…
ガチガチ…



これが私の中に
…やっとな…!!



…そんな顔で
はじめてくれるの
はじめて…

胸を挿きむしりたく
なるような羞恥…



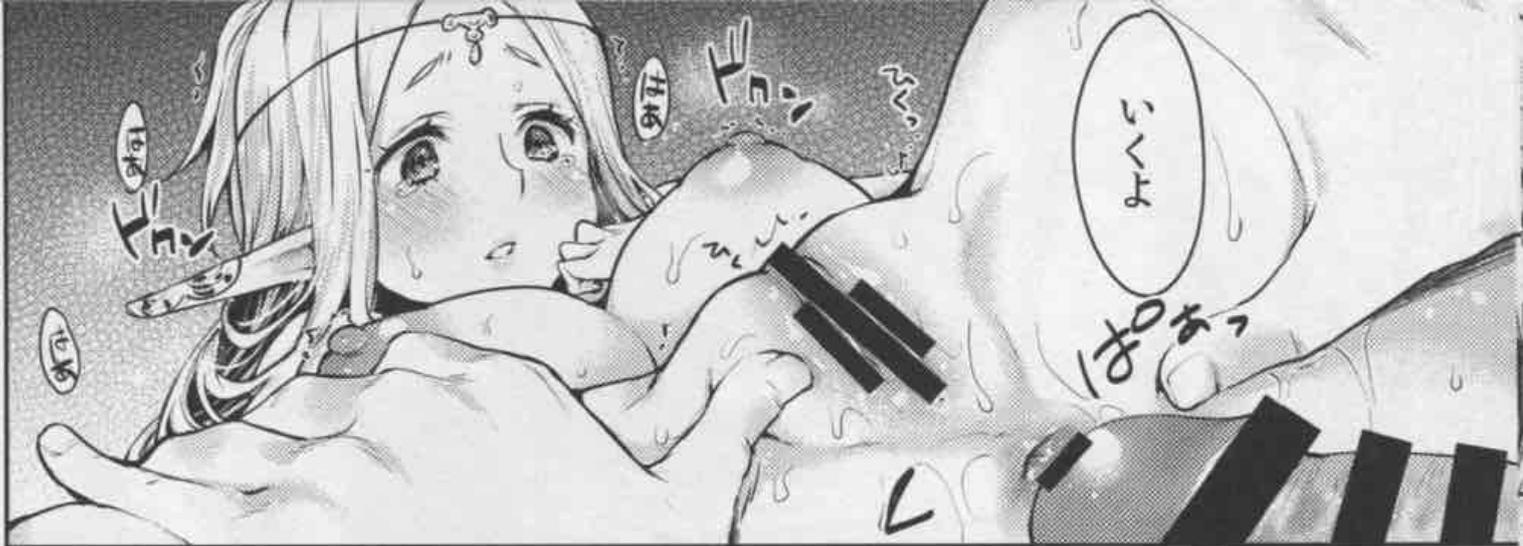
我慢
できない

それだけ…

脚開いて



お姉さんの方が
気持ちよさそう…





よすぎて無理ですう……!

ごめ…
なさッ…



あうっ…だめっ!
イツちやう…!

久しぶりで我慢できない?

オレもう少し楽しんでいたいんだけどなあ…!



じゃあ早くするから一緒にイこうね





まってえ……
イツたばっかり
なの……!!



は……
次は僕……



うああ……

まだ……まだ
敏感だからあ……!



僕の……
気持ち良い
ですか?

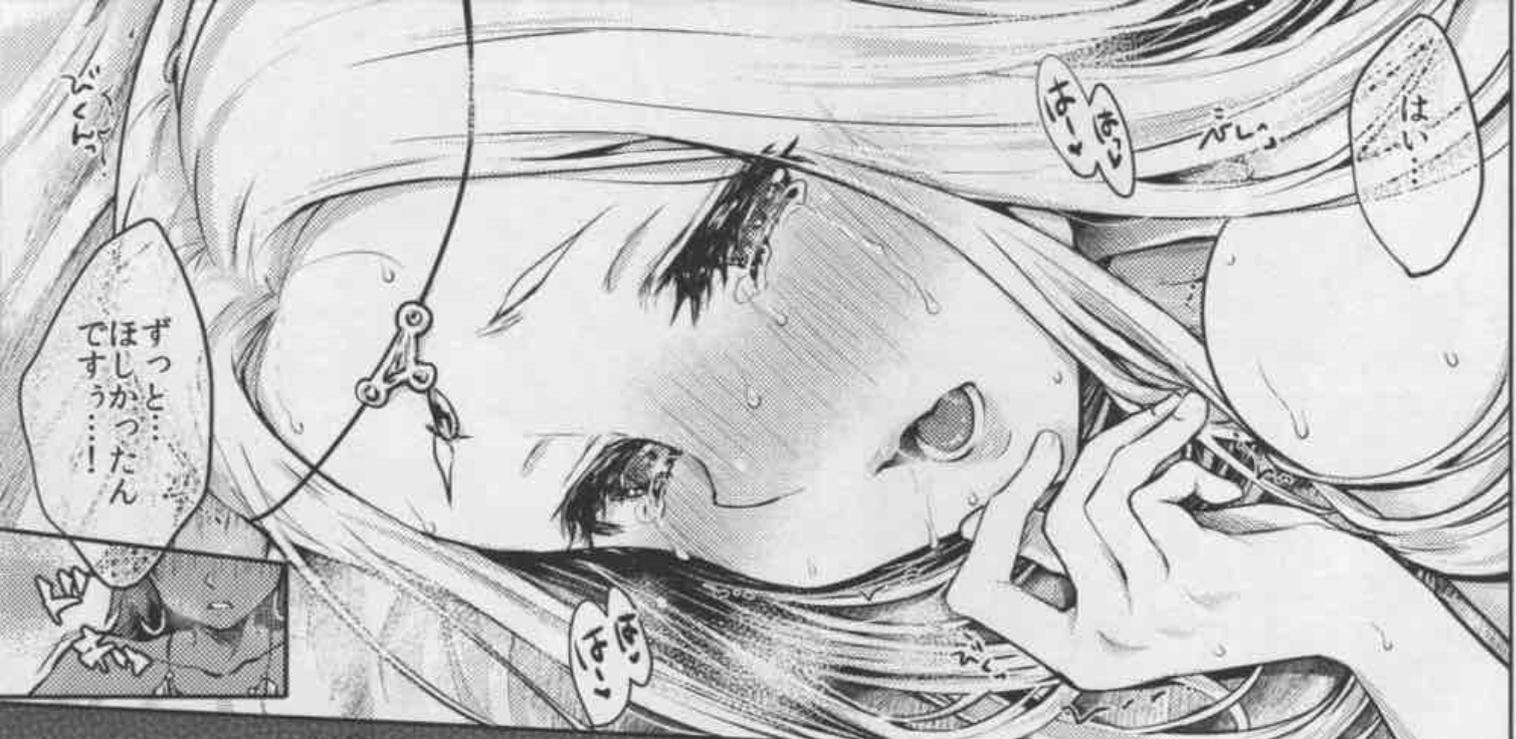
はいっ……
気持ち良い
ですう……!!

本当……



もう……

待てません!



でほすじつと...
すうかつたん

はーん

はい

はい



そんなじつ
でも...

ここで
止められちゃうのは
もつと嫌...

いきたいん
ですよね...?

赤ちゃん出来たら
産んでくれますか?

そんなこと
言われたらすぐ
出そう...

あかちや...



うみますっ ♡

おはよう
おはよう

そんなじつ
締まる...

おはよう







口も性感帯の
お前には
堪んねえだろ？

チンポで
串刺しだ

苦しい...
のこ...



何言ってるか
わかんねえぞ

ハメ潮
噴いてねえで
答えろよ



やっぱりコイツは
救いようのねえ
マゾ女だな

そんな



どうなんだ？



こつちにもぶち込んでやるか

?!

あの子達のししか挿れたことないのに…!

それはっ
だめ…!

何言っても止めねえって
言っただろ

…ためこ
言っただろ…

無理矢理…

…



良い声
出すじゃねえか

初めてヤツた時を
思い出してしまうぜ

気持ち
よすぎ



「おれちやっ…」



デメエのが食いついて
嫌ならいくんじゃねえよ

ただで…

それともここでやめるか？

ッ……いやじゃないです！

もつと犯して下さい！

お尻もおまんこも……

すっとうすっとうしたかった

好きに使ってえ……！

羞恥で満たされて溶けそうなほどの快楽……

初めて樹海で犯された日に目覚めた……

正直に言えたなご褒美欲しいか？

本当の私

締めつけっぱなしで吸い付きやべえ……！





感じすぎだろ
ちったあ堪えたら
どうだ？

おちんちんさ
キもちおまき
ウリです

ハバハッ！
そろそろお待ちかねの
精子くれてやるよ
感謝しな！



最高の肉奴隷に
なったな！

奥に出すぞ！

深く深さの
きちゃひ...



いま射精
されたり...





あー…
出るの
止まんねえ…



いきすぎて
トんじまったか
まあ良い
次やつちまえ



まだ一巡しかね
してないからね



：オレは
リーダーみたいにいけど
ちんこ大きくないけど
物足りなくない？

おちんちん：
きもちいいですう：♥



やっぱりあの時
お姉ちゃん
選んでよかった

だって



普段は凄く
凛々しいのに



ちよつと
可愛がるだけで
雌兎よりも
盛っちゃうんだから

淫乱

そんな風に
言ったら
可哀想だよ

ねえ
お姉さん?

違うよ
こうやって
虐められるの
好きなんだ

締りが良く
なるもん



……反応薄いな
やりすぎちゃったか？

この程度で
壊れるような
タマなら海で
早々に死んだら
死んでた

挿れてるのに
膣内うねってる

……まあ
ある意味では
最初から
壊れてたか

一晩中……

今日は
このまま
ずうつと

挿れっぱなしに
しましようか

ああ確かに……
甘んじてるよな
女がトモハハツ
ねえよなハハツ

んー

……

んー





アイオリスに
もう少し残ろうと
思います…

私……も



そんじや
評議会に
寄つてから

なんだ
暫くは全員
…今まで通り
か



宿に戻つて
一休みするかね



夢を授け踏み入れた樹海で

彼女は信じた仲間に戻された——

敵意過ぎる肉麻は処女にも関わらず、

贈れる度に愛液を漏らせ、私算を挿入しても

最度となく慰撫し、果ててしまおう。

それを境に、彼女は新たな世界を与えられた。

【ギルドの性欲処理係】

彼女に抱かれを苛むる祇酔な少年さえも、

男達には、羞恥を与え、心を性具へと変えた。

膝やめ、腰等を開発された淫靡な肉麻は

ついに快楽を受け入れ始めていた——

マがて佳境に入る匿名探索。

その最中、リレーターの男がボツリと喰いた。

「お前にも喰いた」

絶望と、争われた快楽に、

彼女はほろりまでも………堕ちていく。